

<スキット・小劇>

言語的表現 3つの観点	I. 主題・テーマ：自由 内容：オリジナル	<ul style="list-style-type: none"> 1) 主題(テーマ・トピック)の選定が適切でスキット・小劇の内容がオリジナルであり、メディアに過剰にとらわれていない、 2) 発表に創造性があるか、 3) グループ全員が参加し楽しんで発表しているか、 4) グループ発表にまとまりがあり、聞き手にテーマが理解されているか、
	II. <u>日本語：発声、発音、語彙、文法</u>	<ul style="list-style-type: none"> 1) はっきりとした日本語の発音で、分かり易い、正確な日本語 2) 学習レベルに相当する文法・文型・語彙の選択と使用 3) 乱暴・不適切な日本語の使用がないか、
	III. <u>アクセント、イントネーション</u>	<ul style="list-style-type: none"> 1) 正しく意味を伝える日本語のアクセント、イントネーションができているか、 2) 日本語としてはなじめない外国語は使用していない、あるいは頻繁に使用していないこと、 3) 日本語として理解できたか、
非言語的表現	I. <u>発表スキル：小道具・演技・演出</u>	<ul style="list-style-type: none"> 1) 発表・表現力：その仕方に工夫があること、ステージを有効に使用、 2) 小道具や演出、演技等に創意性があり効果的に発表に取り入れているか、 3) 聞き手にもグループ発表の楽しさが無理なく伝わっているか、 4) 時間内にまとめてあること：準備 set-up 2分内、発表3～5分以内とし、各グループ7分以内にまとめること、とする。